

## 新発見！

# 200年前の鳥瞰図の製作過程の一端を解明！

秋の企画展で公開中の江戸の鳥瞰図「江戸之図」が、当時刊行されていた地図を参照して製作された初の事例であることが分かりました！

このことは、出版による地図の普及が鳥瞰図に応用されたことを示し、江戸時代の地図文化の拡がりを示す貴重な発見です。

## 1 経緯、判明した内容

### (1) 経緯

当館に寄贈された守屋壽コレクションのうち、令和2年10月1日に追加された124点の1つで、当館で資料調査を進めていた。

### (2) 判明した内容

- ① 当時江戸で刊行・販売されていた切絵図「安見御江戸絵図」を基に製作された。
- ② 近世の都市の鳥瞰図で、参照元の地図が判明したのは、本例が初めて。
- ③ 製作年代は、文政10年（1827）頃。依頼主は熊本藩。描いた絵師は不明。

## 2 「江戸之図」について



### (1) 概要

江戸湾の東側上空から江戸を眺めたような構成で東は浅草、西は品川まで描く。  
寸法はタテ105.8cm, ヨコ412.5cm, 手書手彩色, 畳物。

### (2) 製作意図

江戸で勤務する熊本藩士が江戸の町や関係機関を理解するために製作されたと考えられる。  
大名や旗本の屋敷の主, 有名な寺社, 花見の名所, 娯楽施設や歓楽街を描く。

### (3) その他

類例に「江戸図屏風」(あつぎ郷土博物館所蔵〔神奈川県〕)がある。

## 3 現在公開中の展示会

令和3年度秋の企画展 守屋壽コレクション受贈記念

「京・江戸・長崎～近世・海の旅と憧れのまち～」

会期 10月1日(金)～11月23日(火・祝)